

まち・ひと・しごと創生総合戦略へ
 平成28年度の予算は



しもむら ひろし
 下村 宏
 議員

質問 まち・ひと・しごと創生総合戦略に関して、来年度の予算がどのように反映されているのか。

答弁（総務部長） 基本目標1の新しい美浦村づくりについては、役場周辺地区と大谷周辺地区の2つの地区計画を推進する。役場周辺地区に地域交流館（仮称）を中心とした施設等を整備し、中心市街地を形成する。子育て支援や商工振興機能が集約される地域交流館の整備を契機として、買い物などの村民生活の利便性の向上、地域経済の活性化

や雇用の確保、定住促進を目指すし、来年度は3億9,208万4千円の予算を計上している。



地域交流館完成イメージ

基本目標2の见たい・住みたい・住み続けたい魅力あるまちづくりでは、定住化促進事業を初め来年度は14の事業で1億146万円を計上している。3つの施策のうち、移住・定住環境の整備では、転出者との継続的な交流や空き

家バンクの活用で、本村への移住促進を図る。地域活性化の推進では、観光地化事業を中心に、地場観光資源を集約する。また、村内の地域交流事業のほか、村外からの来訪が望めるイベントを開催する。

美浦だけの魅力づくりでは、地域交流拠点を中心に、土地利用の見直し・活用方法の検討を行い、本村への来訪者の増加を目指す。なお、定住促進の一環として、定住促進奨励金を交付する制度があり、これまで55件の支給、平成27年度は48件の申請があった。

基本目標3の子育て、子育てにやさしいまちづくりでは、総額2億1,845万8千円を計上している。

子供の保育・居場所の充実として、子ども・子育て支援制度に基づく子育て支援を充実し、出産や子育てに不安を抱える家庭の相談支援や、保護者同士の交流を企画し、支

えあいによる子育て支援をする。子どもの医療費助成、多子世帯への支援、子どもの就学に必要な支援など、子育て世代への経済的支援を行う。教育の質の向上では、教材等導入支援を行い、社会力向上を目的とした教育の質の向上を図る。

基本目標4の安心で暮らしやすいまちづくりでは、防災カメラや防犯カメラの設置など、村民の安心・安全な環境づくりを初め、11事業を位置づけ、5,808万6千円を計上している。



防災・防犯カメラ